

# 平成27年3月期

平成26年4月1日～平成27年3月31日

## 補足説明資料

---

平成27年5月8日（金）

デジタルアーツ株式会社

（証券コード2326）

## 平成27年3月期 連結通期業績

### ■売上高・各利益共に過去最高業績となる

売上高 3,402 百万円 (前期比 112.4%)  
 経常利益 910 百万円 (前期比 138.0%)

(単位：百万円)

連結	平成26年3月期	平成27年3月期		
	通期 (実)	通期 (予)	通期 (実)	前期比
売上高	3,027	3,330	3,402	112.4%
営業利益	653	767	865	132.5%
経常利益	659	770	910	138.0%
当期純利益	399	461	531	133.0%

\*予想は平成26年5月9日公表の業績予想

- ✓ 連結売上高は前期比 + 374百万円と大幅増収
- ✓ 企業向け市場、公共向け市場で主力製品の販売が順調に推移
- ✓ 家庭向け市場においては、施策を見直し収益性改善を重視するも、前年並みの売上を確保

## 連結売上高

売上高：3,402 百万円

(前期比 +374百万円 / +12.4%)  
(予算比 +72百万円 / +2.2%)

## 企業向け市場

売上高：1,899 百万円

(前期比 +261百万円 / +16.0%)  
(予算比 +56百万円 / +3.1%)

## 公共向け市場

売上高：1,140 百万円

(前期比 +111百万円 / +10.8%)  
(予算比 +23百万円 / +2.1%)

## 家庭向け市場

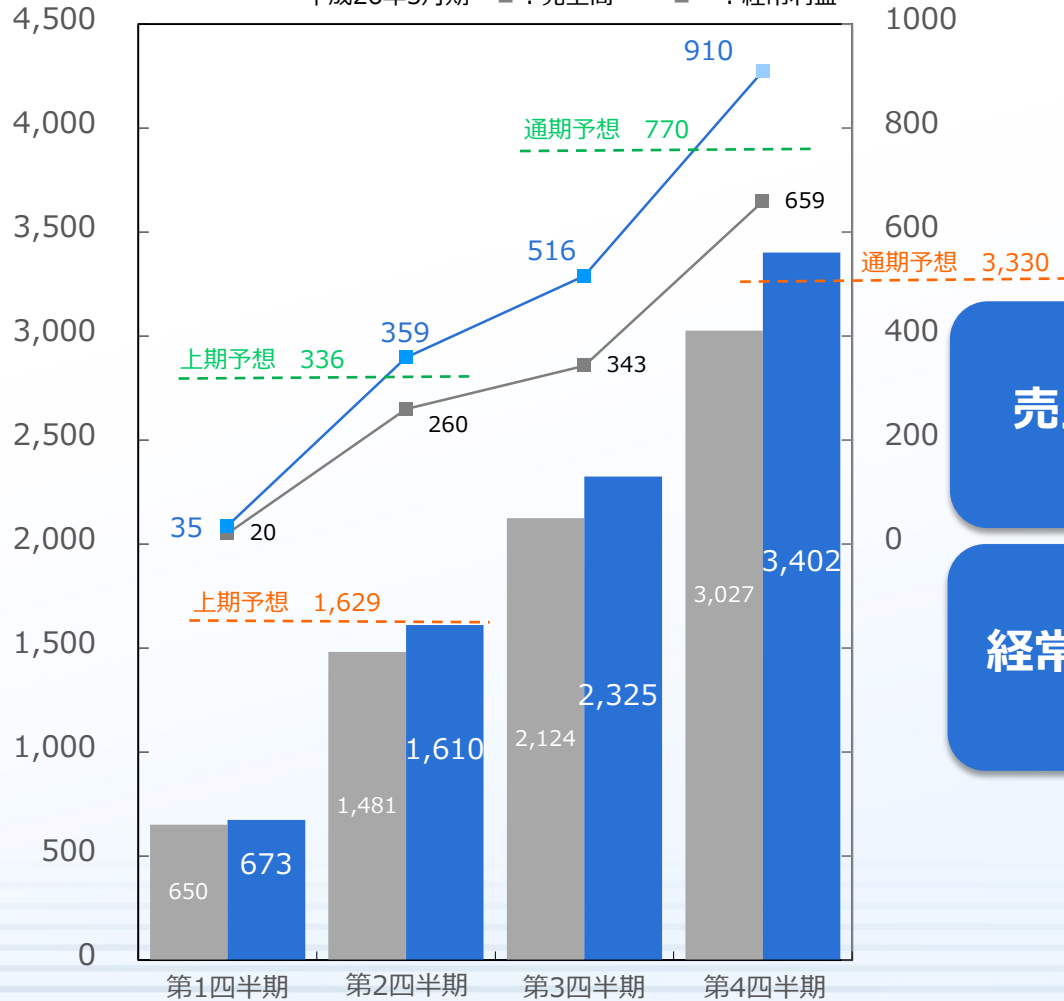
売上高：362 百万円

(前期比 +1百万円 / +0.5%)  
(予算比 △7百万円 / △1.9%)

## 業績の推移（連結）

(単位：百万円)

平成27年3月期 ■：売上高 ▲：経常利益  
平成26年3月期 ■：売上高 ▲：経常利益



売上高

前期比：112.4 % (累計ベース)

✓ 各四半期、着実に前期比増収を確保

経常利益

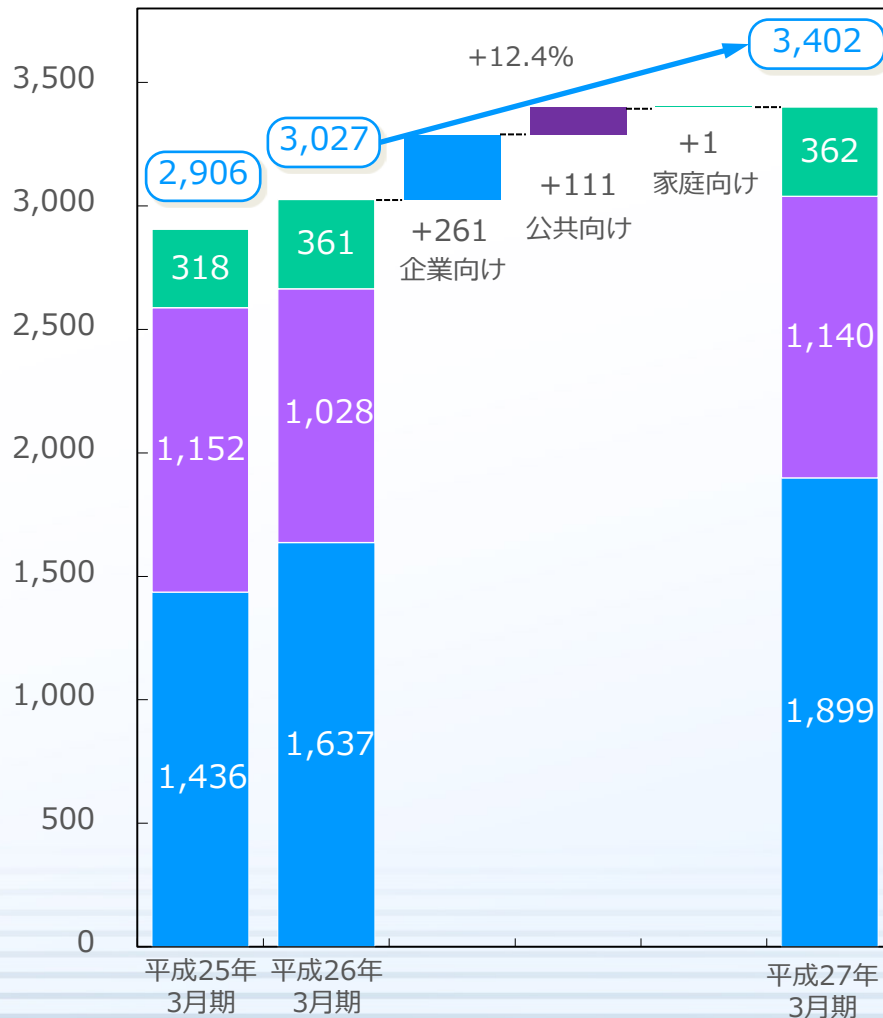
前期比：138.0 % (累計ベース)

✓ 売上高同様、各四半期、着実に前期比増益を確保

## 市場別売上高の推移（連結）

(単位：百万円)

■ 企業向け市場 ■ 公共向け市場 ■ 家庭向け市場



### ■ 前期比

連結全体

**3,402** 百万円  
(+374百万円 / +12.4%)

企業向け

**1,899** 百万円  
(+261百万円 / +16.0%)

公共向け

**1,140** 百万円  
(+111百万円 / +10.8%)

家庭向け

**362** 百万円  
(+1百万円 / +0.5%)

## 企業向け市場

### ■ 主力製品の販売が順調に推移

売上高：1,899 百万円（前期比+16.0%）

i-FILTER	+9.4%
m-FILTER	+36.2%
D-SPA	+15.5%
FinalCode	+394.3%

## 公共向け市場

### ■ 企業向け市場同様、主力製品の販売が順調に推移

売上高：1,140 百万円（前期比+10.8%）

i-FILTER	+6.0%
m-FILTER	+46.8%
D-SPA	+41.0%

## 家庭向け市場

### ■ 売上は前期並みに留まるも収益性改善

売上高：362 百万円（前期比+0.5%）

- ✓ 「Newニンテンドー3DS™」に『ブラウザーのフィルタリング設定がはじめから有効な状態』で「i-フィルター」の技術が採用される
- ✓ 残虐画像の拡散などが社会問題に。様々なメディアを通して有害サイト対策について啓発活動を行う

## 海外関連市場

### ■ FinalCode, Inc.の設立 販売体制が整う

- ✓ 米国における「FinalCode」のマーケティング活動・販促活動が進む
- ✓ セキュリティ業界における人脈と経験豊富な主力メンバーのハイアリングが完了。平成28年3月期からの本格的な販売活動に向けた体制が整う

# 売上原価と販売費及び一般管理費の状況



売上原価 974 百万円 (前期比 +11.0%)  
 販売費及び一般管理費 1,562 百万円 (前期比 +4.5%)

新製品開発・発売に伴う人員の増強と減価償却費の増加、海外展開関連費用（人件費17百万円・その他51百万円）などによるものです。

これらは今後の成長に向けての投資として、概ね計画通りに推移いたしました。

(単位：百万円)

連結	平成26年 3月期	平成27年3月期			
	通期 (実)	通期 (実)	前期比	対前期 増減額	主な増減要因
売上原価	878	974	+11.0%	+96	
労務費	378	384	+1.5%	+5	
減価償却費	278	357	+28.3%	+78	新製品発売に伴う減価償却費の増加
他勘定振替その他製造原価	220	232	+5.5%	+12	
販売費及び一般管理費	1,496	1,562	+4.5%	+66	
人件費	780	805	+3.3%	+25	海外展開に伴う現地人員増加
広告宣伝費	178	158	△11.4%	△20	施策見直しによる広告費減
その他	537	599	+11.5%	+61	海外展開に伴う関連費増



# 平成28年3月期 通期業績の予想

<平成27年4月1日～平成28年3月31日>

---

 DigitalArts.

# 平成28年3月期 戦略

---

## ■ 企業および公共向け市場の戦略

### i-FILTER (サーバー版)

- 新規顧客として成長が期待出来る大手企業のお客様への販促を推進
  - ✓ ファイア・アイ等、他製品との連携を積極的に展開し、大手企業のニーズのトレンドに合わせたソリューションを提供
- 新たなセキュリティ課題である“シャドーIT”による情報漏えい対策に有効な機能を搭載した「i-FILTER」 Ver. 9 (平成26年4月発売開始) へのバージョンアップを加速

### i-FILTER (モバイル端末版)

- 「i-FILTER」の約7,000社の既存顧客が保有するモバイル端末への販売を促進
  - ✓ 「i-FILTER Proxy Server」との併用でログやフィルタリング設定の一元化が可能
  - ✓ 私立小・中校を中心にタブレット導入が活発化。また、金融機関でもタブレットの導入が進んでおり、モバイル端末版への需要拡大が期待される

### m-FILTER

- GmailやOffice365などのクラウドメールへの対応をはじめとした多彩な機能と強固なセキュリティにより、平成27年3月期において「導入実績No.1」を獲得
- 継続的な製品強化を進めながら、ブランドを確立
  - ✓ 引き続き多機能・強固なセキュリティを武器に販売を促進
  - ✓ お客様のニーズが高い機能の追加等、製品強化を継続

## ■ 企業および公共向け市場の戦略

### FinalCode

- 過去の販売活動を通じてお客様のニーズ、FinalCodeの活用方法が具体化
  - ✓ 平成27年3月期、約4倍の売上成長。引き続き、顕在化している案件を獲得し、前期同率以上の成長を目指す
- 本年10月より開始されるマイナンバー制度の導入に伴い、企業等におけるマイナンバー管理対策として「FinalCode」への関心が高まっており、潜在顧客への販促活動を推進

## ■ 家庭向け市場の戦略

### i-フィルター（モバイル端末版）

- MVNO含む携帯電話事業会社やOEM提携先と連携し、スマートフォン向け「i-フィルター」や1つのシリアルIDでWindows、iOS、Android™の3つのOSで利用可能な「i-フィルター for マルチデバイス」（平成27年3月発売）の拡販をするとともに協業を拡大

## ■ 海外市場の戦略

### FinalCode, Inc.

■ セキュリティ業界における人脈と経験豊富な主カメンバーが揃い、販売体制が整う



Board of Director CEO

Gordon Boyce 氏

元ForeScout Technologies CEO



Board of Director

Howard・A. Schmidt 氏

元米国大統領サイバーセキュリティ特別補佐官



COO

Scott Gordon 氏

元ForeScout Technologies CMO



Director of Sales

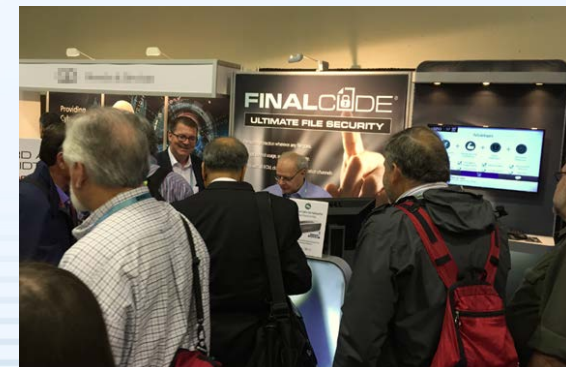
Phillip Stalnaker 氏

元EMC Cloud Sales Specialist

■ 2015年4月20日～23日に開催されたRSA Conference※に初出展

最小ブースでの出展であるのにも拘らず

3日間での獲得リード数 **620** 件



※ 暗号化や情報セキュリティを扱うカンファレンス。毎年アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコでフラグシップイベントが開催される。

# 平成28年3月期 通期業績予想

---

平成28年3月期からデジタルアーツは本格的なグローバル展開を開始いたします。

米国市場を含む世界のDLP（Data Loss Prevention：データ漏洩防止）市場は、大幅な成長が見込まれています。デジタルアーツは日本はもちろん、米国を含む主要な国々で「FinalCode」に関連した特許を取得し、グローバル展開の準備を進めてまいりました。

平成27年3月期、FinalCode, Inc.にセキュリティ業界における人脈と経験豊富な主力メンバーが揃い、販売体制も整いました。

平成28年3月期以降、北米市場からスタートし、早期にグローバルで拡販できるよう戦略的な投資を行ってまいります。

そのため、今後は個別業績と連結業績に乖離が発生することが予想されます。

平成27年3月期においても米国子会社への投資は行っておりましたが、平成28年3月期は約320百万円の先行投資を行いますので、平成27年3月期の実績（約68百万円）以上に個別業績と連結業績に乖離が発生する見通しです。

既存のビジネスの成長性については、従来の連結業績実績と平成28年3月期個別業績予想をご比較下さい。

従来通り既存のビジネスで安定的な成長を継続しながら、デジタルアーツの新しいチャレンジであるグローバル展開により新しいステージへと急成長を目指してまいります。

平成28年3月期 個別業績予想

■個別については、売上・各利益共に平成27年3月期の成長傾向を持続

売上高 37.6 億円 (成長率 10.9%)  
 経常利益 12.2 億円 (成長率 32.3%) の予想です

(単位：百万円)

連結	平成27年3月期	平成28年3月期	
	通期 (実)	通期 (予)	成長率
売上高	3,395	3,765	10.9%
営業利益	913	1,224	34.0%
経常利益	926	1,224	32.3%
当期純利益	573	759	32.3%



平成28年3月期 連結業績予想

■ 連結については、米国子会社への先行投資があるも、平成27年3月期並みの利益を確保

売上高 38.0 億円 (成長率 11.7%)

経常利益 9.1 億円 (成長率 0.0%) の予想です

※なお、費用には、米国子会社に関する先行投資費用として、約320百万円が含まれております

(単位：百万円)

連結	平成27年3月期	平成28年3月期	
	通期 (実)	通期 (予)	成長率
売上高	3,402	3,800	11.7%
上期	1,610	1,794	11.5%
下期	1,792	2,006	11.9%
営業利益	865	910	5.2%
経常利益	910	910	0.0%
当期純利益	531	548	3.2%

今後、重要な変化がある場合は適切に開示してまいります

## ■ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

平成28年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の35.9%

平成28年3月期年間剰余金配当予想額は1株当たり14.00円

	1株当たり配当金			連結配当性向
	中間	期 末	合計	
平成27年3月期	5.00	※9.00	14.00	36.6%
平成28年3月期（予想）	7.00	7.00	14.00	35.9%

※創立20周年記念配当の4.00円を含んでおります

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示してまいります。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しております。

- ・デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER/i-FILTER EndPoint Controller、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File Scan、D-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- ・FinalCode は株式会社アイキュエスの登録商標です。
- ・その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

# DigitalArts®

- より便利な、より快適な、より安全な  
インターネットライフに貢献していく -